

## 日本人の死因

現在の日本人の死因の1位は「癌」であることは誰でも知っています。2位は「心臓疾患」であることも知っていると思います。それでは3位は?と問われてすぐに「老衰」と答えられる人は少ないでしょう。

老衰死が増えた理由はいくつか考えられます。

まず初めに平均寿命が延びて死亡者全体のうち高齢者が占める割合が増えているためではないかと考えられます。

次に高齢者の死因は明確な傷病名をもって診断し難いため、「死因は究明すれば必ずあるはずであるが、とりあえず便宜上、老衰としておこう」としたと考えられます。

さらには医療現場が「老衰死」と言う様態を自然死として受け入れるようになったからとも思われます。無理して治療するよりも自然な死を受け入れようとする人が増えてきたとも言えます。

世界で最も早く超高齢社会になっている我が国において、老衰が増えるのは極めて自然だと思われます。

将来、老衰が死因の1位になる可能性もあります。

我々医療者の究極の目的は老衰が純粋に老化の果ての死の原因になることであります。

愛知淑徳大学健康医療科学部 教授  
愛知淑徳大学クリニック糖尿病内科 医師

井口 昭久

